
魔法戦士フレッドの冒険

ベホマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法戦士フレッドの冒険

【Nコード】

N3098P

【作者名】

ベホマ

【あらすじ】

とある村に住んでいる13歳の少年、フレッド。
ついに魔法戦士城に入学の時がくる。

新しい友達、居場所、信頼できる仲間たちとともに、冒険が始まる

プロローグ 駅

とある小さな村のとある家。すべてはここから始る。

決して大きいとはいえないこの家に彼はいた。名をフレッド・エイバリー。今日が13歳の誕生日。

親は物心ついたところからおらず、養子として引き取ってくれたジョーゼフのもとで暮らしていた。

フレッドは今日、嬉しさと期待で胸がちぎれてしまいそうだった。もちろん、13歳の誕生日というのもある。しかし、もっと特別で、素晴らしい世界がフレッドを待っていた。

『トラスファー魔法戦士城』への入学

人は皆、この城（学校）に入学し、生きるために必要な魔法学、剣術、人とかかわりなどを学ぶ。

期間は6年。13歳で入学し、19歳で卒業。そこから立派な大人としてこの『魔法界』へと飛び立つ。フレッドはそんなトラスファーへの入学が楽しみでしかたがなかった。そしてついに今日、その夢が叶う。トラスファーへは『超特急トラスファー魔法戦士号』という魔法列車に乗っていく。フレッドは列車に乗るのも初めてだったので、少し緊張していた。

コルジーナ村は小さいが、活気のある村だった。ジョーゼフは一軒家で武器屋を営んでいる優しいおじいさんだった。

「フレッド、準備ができたら駅へ向いなさい。切符を忘れるんじゃないよ」

「どこにあるの？」

フレッドが聞いた。するとジョーゼフが答えた。

「希望を持って西に進みなさい。自然とお前の前に現れるよ」

「・・・希望を持たなかったらどうなるの？」

フレッドが聞いた。しかしジョーゼフは答えなかった。しばらくカン！カン！という作業の音だけが響いた。ジョーゼフはさあ！と言ってフレッドを送り出した。

村を出ても草原しかない。フレッドは外の世界といったら壮大なこの草原しかしらなかった。

フレッドは優しく、時に勇敢な子だった。潜在能力は高いが、自分でもそれに気づいていないようだ。とにかく目指すは西の駅。とりあず進む事にした。

こんな自然、他ではあまり体感できない事はジョーゼフが教えてくれた。

だから自然を大切にしないとされた。フレッドは今までの13年間を振り返りながら進んだ。

一度深呼吸しようと思を閉じた。すると今まで聞いたことのないような騒音が聞こえた。

そと・・・目を開けた。すると、駅のホームでポツンと立っている自分がいた。

切符を握り締め、フレッドは人ごみをかきながら進んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3098p/>

魔法戦士フレッドの冒険

2010年12月5日06時24分発行